

パラグアイ内政・外交報告（10月分）
政治情勢

2017年11月作成

1 内政

（1）カルテス大統領の上院議員選挙出馬

6日、コロラド党アニエテテ派（反主流派）のアブド・ベニテス次期大統領候補は、カルテス大統領の次期上院議員選挙出馬に異議申し立てを行わない旨述べた。他方、24日、野党リベラル党の幹部は、同大統領の上院選出馬に異議を申し立てる旨表明した。パラグアイ憲法では、任期を全うした大統領は名誉職である「終身上院議員」となる旨の規定があるだけのため、現職大統領の上院選挙出馬の可否について、専門家の間でも意見が分かれている。

（2）新検察庁長官の指名

ディアス現検察庁長官の任期満了に伴う次期長官の任命に関して、9日、カルテス大統領は、司法審議会が選出した3名の候補者の中からキノネス検事を次期長官に指名した。他方、上院議会の野党各派は同検事の任命に反対する旨表明しており、議会承認の見通しは不透明となっている。

（3）農牧相の交代

20日、バルハ農牧相が、次期パラグアリ県知事選挙に出馬するため辞任した。23日、メディナ農牧次官（牧畜業担当）が新大臣に就任した。

2 外交

（1）パラグアイ・亜・ウルグアイの2030年FIFAワールドカップ招致

4日、亜ブエノスアイレスにおいて、カルテス大統領、マクリ亜大統領及びバスケスウルグアイ大統領が首脳会談を行い、三国共催で2030年FIFAワールドカップの開催地に立候補することを正式決定した。

（2）ミクロネシア連邦との外交関係樹立

12日、パラグアイ政府はミクロネシア連邦との外交関係を樹立した。ニューヨークのパラグアイ国連代表部事務所において、両国の国連代表部大使による共同声明の署名式が行われた。

（3）カルテス大統領のウルグアイ訪問

18日、カルテス大統領は、世界保健機関の非感染症疾患に関する国際会議に出席するためウルグアイを訪問した。また、同訪問の機会にバスケスウルグアイ大統領及びバチェレチリ大統領と会談を行い、ベネズエラ情勢等に関して意見を交わした。

（4）マントウロフ 露産業商務相のパラグアイ訪問

23～25日にかけて、マントウロフ 露産業商務相が40社の企業ミッションと共にパラグアイを訪問した。同産業商務相は、ロイサガ外相、レイテ商工相、ヒメネス・ガオナ公共事業相とそれぞれ会談を行い、二国間経済関係、投資、経済協力等について意見交換した。

(5) ロイサガ外相のリマ・グループ外相会合出席

26日、ロイサガ外相は、カナダのトロントにおいて開催された第3回リマ・グループ外相会合に出席した。同会合後、ベネズエラ情勢に関する共同声明が発出された。

(6) ゴンサレス新外務次官の就任

30日、カベージョ前筆頭外務次官の後任として、ゴンサレス筆頭外務次官（前駐亜大使）が就任した。

3 要人往来

(1) 来訪

- マントウロフ露産業商務相

(2) 往訪

- カルテス大統領，亜訪問（亜，ウルグアイとの三国首脳会談）
- カルテス大統領（ロイサガ外相，バリオス厚生相同行），ウルグアイ訪問（非感染症疾患に関する国際会議）
- レイテ商工省，韓国訪問（IDB ビジネスサミット）
- レイテ商工相，台湾訪問（商業ミッション）
- ロイサガ外相，カナダ訪問（リマ・グループ会合）
- バイアルディ女性相，マルティネス司法相，寿府訪問（女性差別撤廃委員会）
- リエラ教育相，バチカン訪問